

マイクロプラスチックの現状 と解決に向けての課題

廃棄物資源循環学会リサイクルシステム部会では、注目されている課題を少人数の参加者で討議しながら深掘りする新しい形式のセミナーを開催します。

海洋を漂流するマイクロプラスチックが生態系に大きな影響を与える可能性があるとして指摘され、大きな議論となっています。今、マイクロプラスチックに関して日本で最も詳しいお二人をお招きし、現状を報告して頂くと共に解決に向けての課題を討論します。

日 時: 7月6日(金)14:30~17:40

場 所: 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館11階 第3会議室
〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26

参加費: 学会員・協賛学会員 1,000円、非会員 2,000円

申し込み先: recycle_system2018@yahoo.co.jp(事前登録、会費は当日払い)

主 催: 廃棄物資源循環学会 リサイクルシステム部会

協 賛: プラスチックリサイクル化学研究会



高田氏

講演1 14:30~15:30 質疑・討論 15:30~16:00

高田 秀重 氏 (東京農工大学 環境資源科学科 教授)

「マイクロプラスチック汚染の現状、影響、汚染の進行、対策についての概観」

マイクロプラスチックの主要な発生源が陸上で使われる使い捨てプラスチックであることから、その対策として、廃棄物管理の重要性、特にレジ袋等の使い捨てプラスチックの削減対策の必要性が国連海洋会議等の国際会議で強調されている。プラスチックの廃棄について、SDGsの視点や炭素、窒素の地球規模での循環の観点からも考える。

講演2 16:10~17:10、質疑・討論 17:10~17:40

井上 雄祐 氏

(環境省 環境再生・資源循環局 リサイクル推進室 室長補佐)

「国内外の資源循環政策の動向」

マイクロプラスチックに関連して、①SDGs・資源循環・海洋ごみ・気候変動政策等の世界的なトレンド、②EUをはじめとする国際的な資源循環の取組み、③循環基本計画の見直しなど我が国における資源循環の取組みの最新状況について概説する。

懇親会 18:10~20:00 アクアシティお台場内(4,000円)



井上氏

問い合わせ先: 産業技術総合研究所 加茂 徹
tel: 029-861-8043 e-mail: tohru-kamo@aist.go.jp